



ポイント  
伝授！  
私の建てた家  
File.03

世界遺産の風雅な静けさのなかに建つ  
セミセルフビルド

早期退職をして実現した念願のキットハウス。世界遺産の熊野古道が近くにある風光明媚な和歌山県日高町で、第2の人生をログハウスとともにスタートさせた長澤さん。その見事な仕上がりに家族はもちろん友人知人も驚いた。得意の家具づくりも軌道に乗ってきた。現在、工房を、ミニログキット、2×4工法等で安く建てる方法を検討中。今度は基礎や屋根も自分でやりたいとさらに夢は膨らむ。

Owner's Profile



和歌山県日高郡日高町  
長澤敏美さん  
大阪府堺市に住んでいた長澤敏美さん。定年より早く退職して、念願だったログハウスを建てた。現在は一人暮らしだが、いずれは奥様のれい子さんと一緒に暮らす予定。立派なキットハウスの完成に奥様と娘さんの希宮さんも驚いた。「許可してくれた妻と娘にやっとな責任が果たせてよかった」と長澤さん。





「右上」1階の奥、風呂場と個室の間にあるトイレ。明るい光彩と広くて落ち着く空間だ  
 「左上」玄関から上がってすぐのリビング。吹き抜けがさらにゆったりとした空間を生み出している  
 「左下」カーテンはロールカーテンだが、カーテンシェルフをつけてレースカーテンもつける予定

リビングの奥はキッチン。折り畳み式のカウンターテーブルや収納スペースなど、長澤さんのアイデアが光っている。この日は奥様が調理

## できないところはプロに手伝ってもらう これぞセミセルフビルドのお手本



北側の外壁もすっきりときれいなデザイン。和歌山は台風の多い地域なので、コーキングもしっかりとなされている

鳥の巣箱。鳥が入りやすくするため、入口の近くに止まり木を取りつける予定



こちらにきて始めたガーデニング。パンジーやチュリップが美しい

玄関口のポストももちろんご主人の手作り。とても可愛らしいデザイン



3mもある広いデッキには手作りのテーブル。その他、機械も置いてある



庭には家庭菜園。小松菜、大根、絹サヤエンドウ、タマネギ、水菜、ジャガイモ、ほうれん草などが植えられている

大阪府堺市に住んでいた長澤敏美さん。仕事を早期退職して、この地にキットハウスをセルフビルドして、現在は一人住まい。セルフビルドだと、まずはミニログか平屋のログハウスにチャレンジするのがふつうだ。でも長澤さんはいきなり2階建てに挑戦した。最初はミニログを建てて、そこに仮住まいしながらログハウスをつくるつもりだった。しかし予算の都合上、断念。コンテナハウスを敷地内に設置し、そこに約半年間、仮住まいしながらの作業。不便な生活をしいられた。難しいところは大工さんに手伝って

「海と山の近くにログハウスを自分で建てて、のんびりと田舎暮らしをするのが夢だったんです」。

和歌山県日高町は日本一の黒竹の生産地であり、また2004年に世界遺産に登録された紀伊山地の霊場と参詣道の熊野古道がある。海にも車で15分で行ける、豊かな自然と歴史の趣きを感じさせる田舎だ。

海と山と世界遺産の近くの  
キットハウスログ





長澤さんの寝室。星空も楽しめる天窓は奥様の熱い要望で取り付けた



双子のように対称的なご夫婦の寝室。いつでもお互いの状況がわかる



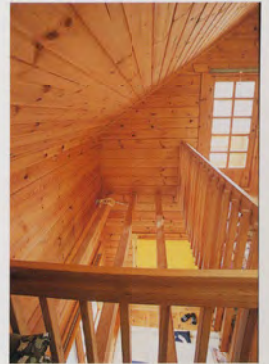
こちらが奥様の寝室。間仕切りはせず、ロールカーテンのみ



2階立ち上げ壁を有効利用したロフト。天窓から明るい光が降り注ぐ。吹き抜けは奥様の強い要望だった。右側にはトイレと収納がある



窓上の霧除け。長澤さんがTALOのログハウスで見たものを、見よう見まねでつくったという



吹き抜けにログ材を根太として取り付けてある。将来、畳や床に変更できるようにしてある

## 家族も大満足のキットハウスでスローなログライフを満喫中



**伝授** ちょっとしたスペースをうまく活用せよ！  
 勝手口階段下の収納庫。勝手口の階段の下のスペースを使って、ゴミ箱や肥料など収納できる便利なスペースに早変わりした。ちょっとした空間もアイデアひとつで大きく生きてくる

明るく美しいデザインの階段はご主人のお気に入りのひとつ。他には、デッキ、天窓、建具類なども気に入っている



## ご主人作品コーナー



下駄箱。ラブリーなデザインが可愛い



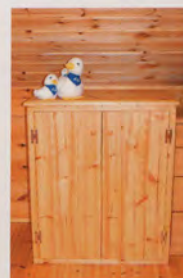
テレビ台。違和感なくジャストフィット



マガジンラック。これが記念すべき第一号作



ストーブを移動させる台。とても素敵なアイデアだ



ハーフロッカー。ログ材なので部屋に自然と馴染む

家の中には余った部材を利用して作った長澤さんの手作り家具がそこかしこにある。半月ほど木工教室に通い基本を覚えてもらっただけでこの腕前だから驚きだ。



折りたたみ式のカウンターテーブルと壁をくっつけて収納スペース





**2003年6月 断熱材**  
特に夏場は天井が熱くなるので断熱材は2重に貼った。



**2003年5月 屋根工事**  
業者に依頼。ログ組みが遅くなると雨などで部材にカビが生えるので、屋根工事までは早く終わらせた



**2003年3月 基礎工事**  
基礎は業者に依頼。床下工事及び今後のメンテナンスを考慮して、高さは60cmにした



**2004年1月～ 木工作业**  
部材の残りを利用して、カントリー家具を制作中。工房がないので、工房をつくりたい



**2003年5月 部材整理**  
内装作業の前に友人と共に床板、天井板、丸太化粧板等の部材整理。大勢での作業は早い



**2003年4月～ 仮住まい**  
敷地内にコンテナハウスを建てて半年間仮住まいした。キッチンや風呂もなく不便だった



**2004年2月～ 熊野古道**  
2004年に世界遺産に登録された熊野古道が近くにあり、健康維持のために散策している



**2003年5月～ 内装作業**  
屋根工事完了後、床板、天井板等の各種板張り、内部額縁等々、様々な作業を行った



**2003年4月 部材搬入**  
途中で部材の積み替えをするため業者に依頼。1日の予定が雨などの影響で2日かかった



**2004年10月 親睦会**  
より交流を深めるため、ご近所の方と第1回目の親睦会（バーベキュー大会）を楽しく開催

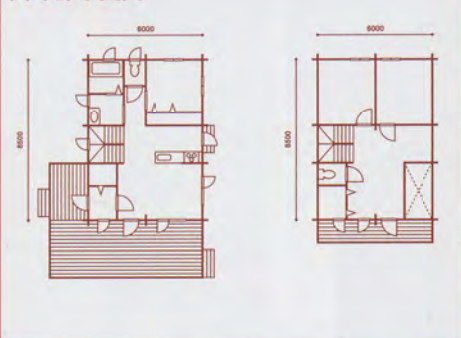


**2003年5月 外壁塗装**  
友人と外壁の塗装作業。好天で、2回塗りが2日間できた。予定より早く終わった



**2003年4月～ ログ組み**  
ログ積み、断熱材貼り、カケヤでのダボ打ち等体力勝負の作業。高所での作業は注意した

長澤邸平面図



Kit House Data

- 建物延べ床面積：93.7m<sup>2</sup>
- ペランダ：30.0m<sup>2</sup>
- 工法：丸太組工法
- 着工日：2003年4月
- 完成日：2003年11月
- キット価格：約790万円
- 問合先：  
(株)TALOインターナショナル  
TEL.03-3482-4555

もらいながらのセミセルフビルドだった。わからないところはTALOに聞き、懇切丁寧に教えてもらった。数あるログメーカーのなかでTALOに決めたのは、親身になっていろいろとアドバイスをしてくれたからだ。

「完成したときは満足感と充実感でいっぱいでした」と語る長澤さん。友人のなかでも、長澤さんにできたのならば、ログハウスに興味を持つ人が増えているという。近所の人たちともうち分け、家庭菜園や家具づくりと忙しい毎日。目下、ログライフを満喫中である。